

Rドロップスに思いをのせて

メッセージ びん再使用ネットワーク代表幹事 中村 秀次

ビールびん、お酒のびん、飲料のびんなど、繰り返し使うことで環境に大きく貢献しているリユースびんですが、今、急速に本数が減少しています。このままでは日本からリユースびんの姿が消えてしまいます。まさに“絶滅危惧種”となっています。「絶滅しないぞ」と歯を食いしばって頑張っている方々が、全国清涼飲料工業会にご参加のボトラーさんたちです。一方、若者たちが、市民たちが、「絶

滅の危機から救おう」と立ち上がって誕生したのが“Rドロップス”です。

この度、全国清涼飲料工業会、ボトラー、市民団体等のご協力で、すぐにでも「商品化」できるRドロップス第2号の設計図ができました。これを文字通り「絵に描いた餅」に終わらせないように、皆様のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。



メッセージ 社団法人 全国清涼飲料工業会 専務理事 公文 正人

(社)全国清涼飲料工業会では、容器包装に関する3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進自主行動計画に基づき、積極的に活動を行っています。

また、リユース推進活動の一環として、リターナブルガラスびんによる地産地消型製品の普及を目指した「地サイダー用共通リターナブルびん」を開発し、全国各地での展開を図っています。

今回のRドロップスプロジェクトへの参加にあたっては、生産者の立場から、Rドロップス2号が多くの

清涼飲料生産者で容易に取り扱える容器となるよう、当工業会会員社の協力を得て、様々な工程の実態把握を行いました。ボトル設計に際しては、これらのデータが十分に反映されており、充填適性の高いボトルが実現できたのではないかと考えています。

今後、消費者・流通業の皆様を始めとして多方面の方々のご協力をいただき、このRドロップス2号が大きく普及してまいりますことを期待いたします。



メッセージ Rびんプロジェクト 代表 西村 優子

「Rドロップス」はそのデザインや名称を含め、アンケートやヤラスト販売など学生や市民も一緒に開発した経緯をもつ画期的なりユースびんです。

ガラスという素材が安心な上、環境負荷が低く、処理費用に税金をつかわない・・・そんな容器の優等生であるリユースびんが減り続けている現状を打開してくれる可能性を秘めています。開発に関わった学生たちが皆、リユースびんの普及に強い関心をもつようになったことを見ても期待が持てると感じています。

今回複数の事業者の方々からアドバイスを

受け、より流通しやすいように改良されて「Rドロップス第2号」が誕生しました。

これによってリユースびん入りの飲料が認知され、より多く流通するようになれば、若者たちが手に取ることも珍しくなくなるかもしれません。

くり返し使えば使うほど、CO₂を減らせるリユースびん・・・「Rドロップス」よ、はばたけ！私たちの真に豊かな未来の実現に向かって！



参加協力者

(社)全国清涼飲料工業会/公文 正人 専務理事、久保田 潔 中小企業部担当部長
 (株)コダマ飲料/池澤 友博 代表取締役社長、(有)戸田乳業/戸田 喜裕 代表取締役、東京飲料(合)/寺田 康夫 代表取締役
 新食工業(株)/石川 浩三 代表取締役、大学生協東京事業連合/関口 晴美 キャンパスライフ事業部部长
 全国びん商連合会/田村 豊也 副会長、笠井 仁志 副会長、(株)吉川商店/吉川 康彦 代表取締役
 東洋ガラス(株)/青野 泰憲 営業企画部長、仲田 望 営業企画部企画開発課長、村井 孝嘉 営業企画部企画開発課長代理、
 八百幸 玲 営業企画部デザイナー、リターナブルびん普及プロジェクト/西村 優子 Rびんプロジェクト代表
 びん再使用ネットワーク/中村 秀次 代表幹事、寺嶋 英介 幹事役員、山本 義美 事務局

| Rドロップスについてのお問合せ先 |

(社)全国清涼飲料工業会 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目3番3号 CMビル3F TEL03-3270-7300 http://www.j-sda.or.jp
 びん再使用ネットワーク事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿6-24-20 welship 東新宿6F TEL03-5285-1883 rbin@binnet.org